

一般社団法人日本老年看護学会の概要

目的：老年看護学の学術的発展と教育・普及、看護実践の質向上を図り、もって人々の健康と福祉に貢献すること

設立：1995年11月

会の概要：会員数 2,850人

- ・ 2024年6月29日に新期の役員体制となった。
- ・ 半数が看護系大学等の教育・研究職、
半数が病院や施設・訪問系の看護職
- ・ 今年6月に対面開催した学術集会には1,500人が参加

認知症関連での事業、活動

- 看護職（会員・非会員）を対象とした研修
 - 地区別開催（4回開催中、2回が認知症看護に関する内容）
 - 認知症高齢者の退院後生活のアセスメントと家族看護（九州・沖縄地区）
 - 急性期病院における認知症看護とせん妄看護（関東地区）
 - 中央開催（認知症看護対応力向上研修）
 - 認知症看護対応力向上研修
 - フォローアップ研修
- 認知症看護認定看護師、老人看護専門看護師の活動をバックアップ

認知症関連での事業、活動

・学術集会

教育セミナー

「認知症高齢者にこそ緩和ケアを」（演者：小川朝生氏、佐藤典子氏）

教育講演

「担当ナースの皆さんへ。私、成年後見人です。」（演者：公文理賀氏）

シンポジウム

「急性期病院の『身体拘束』は如何にしてなくせるか」

（演者：山下いずみ氏、内部孝子氏、山崎睦美氏、長谷川美栄子氏）

その他、交流集会、ランチオンセミナー、口演・ポスター発表で認知症関連の内容も多数あり

認知症関連での事業、活動

- ・ **新たな委員会を組織**

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」に関連して、看護職の理解を進めるための活動を開始する。

具体的な活動内容について、検討を始めた段階。

- ・ **本学会が編集する書籍を刊行予定（2025年6月予定）**

主として病院に勤務する看護師等を読者対象とした書籍「認知症看護スタンダード」（仮タイトル）の刊行に向けて、主に学会員が執筆中。